

農政なら

編集・発行
奈良県農業会議(奈良市登大路町・県庁内)
TEL 0742-22-1101(内線5623~9)
FAX 0742-24-8576

トピックス

第121回奈良県農業会議通常総会・ 第5回臨時理事会を開催

県農業会議(増井勲会長・写真)は、平成30年6月29日、奈良市法蓮町「ホテルリガール春日野」において第121回通常総会並びに第5回臨時理事会を開催しました。

総会には、農業会議会員をはじめ県関係者など約90名が出席しました。冒頭増井会長は「改正農業委員会法による新体制への移行が今年度完了します。法定化された農地利用の最適化の取り組みの具体的な成果が問われます。



遊休農地の発生防止並びに解消、担い手への農地の利用集積、新規就農・新規参入の促進が重要です。また、農地の利用を促進していくために、農業委員、農地利用最適化推進委員と中間機構との連携が求められています」とあいさつしました。

総会では、理事並びに監事の選任が行われ、増井勲氏、山中篤伸氏、上田逸朗氏、山本尚氏、松井正剛氏、今中富夫氏、高岸豊氏の理事への就任が。また、下村修氏、廣瀬智彦氏、水井棟三氏の監事への就任が決まりました。

このほか、県下の農業・農業者の利益代表機関として、奈良県農業の振興発展と農家経済の充実並びに農家生活の向上を図り、本県農業の健全な発展を目指して取り組んだ、平成29年度の各種事業実績の報告を行い、参加者から承認を得ました。承認された議案は次のとおりです。

第1号議案
平成29年度事業報告並びに経費収支決算承認に関する件

第2号議案
定款第6条第4項第2号会員の指名に関する件

「第4回農地マネジメント委員会」を開催

第3号議案
奈良県農業会議理事・監事の選任に関する件

第4号議案
奈良県農業会議定款の一部変更に関する件

また総会終了後に、新たに選任された理事及び監事による臨時理事会が開催されました。会長並びに副会長、専務理事の選任が行われ、代表理事会長に増井勲氏、副会長理事に山中篤伸氏、上田逸朗氏、山本尚氏、専務理事に高岸豊氏の就任が決まりました。

県農業会議は、平成30年7月2日、橿原市の「大和平野土地改良区会議室」において、「第4回農地マネジメント委員会」を開催しました。開会にあたりこの委員会の委員長を務める山本尚副会長(県農林部長)は「県ではいま、県土をどう活用していくのが主要施策のテーマとなっております。農地をどう活用するかを考えるうえで、本県独自の取り組みとして『特定農業振興ゾーン』の設置を進めており、設置計画に関する委員の皆様いろいろなご意見を頂ければと考えています」とあいさつされました。

ト課から、ゾーンの設定に向けて計画策定が進む川西町の下永東城地区、田原本町の法貴寺地区、八田地区、広陵町の寺戸地区、百済(川向)地区の5地区に関する説明を受けました。同計画に対する修正に向けた意見等は出されず、県がゾーン設定に向けて進めることについて了承されました。

他にも委員からは、「農家が儲かる施策の展開を願いたい」「中山間でのゾーン設定も進めるべき」といった意見や、「今後我が市において進める上で考え方などのアドバイス」との要望が出されました。

県担い手・農地マネジメント